

全国初

**総務省の「地域経済応援ポイント導入による
好循環拡大プロジェクト」に参加し、
交通系カードとの連携事業を実施**



平成29年2月1日

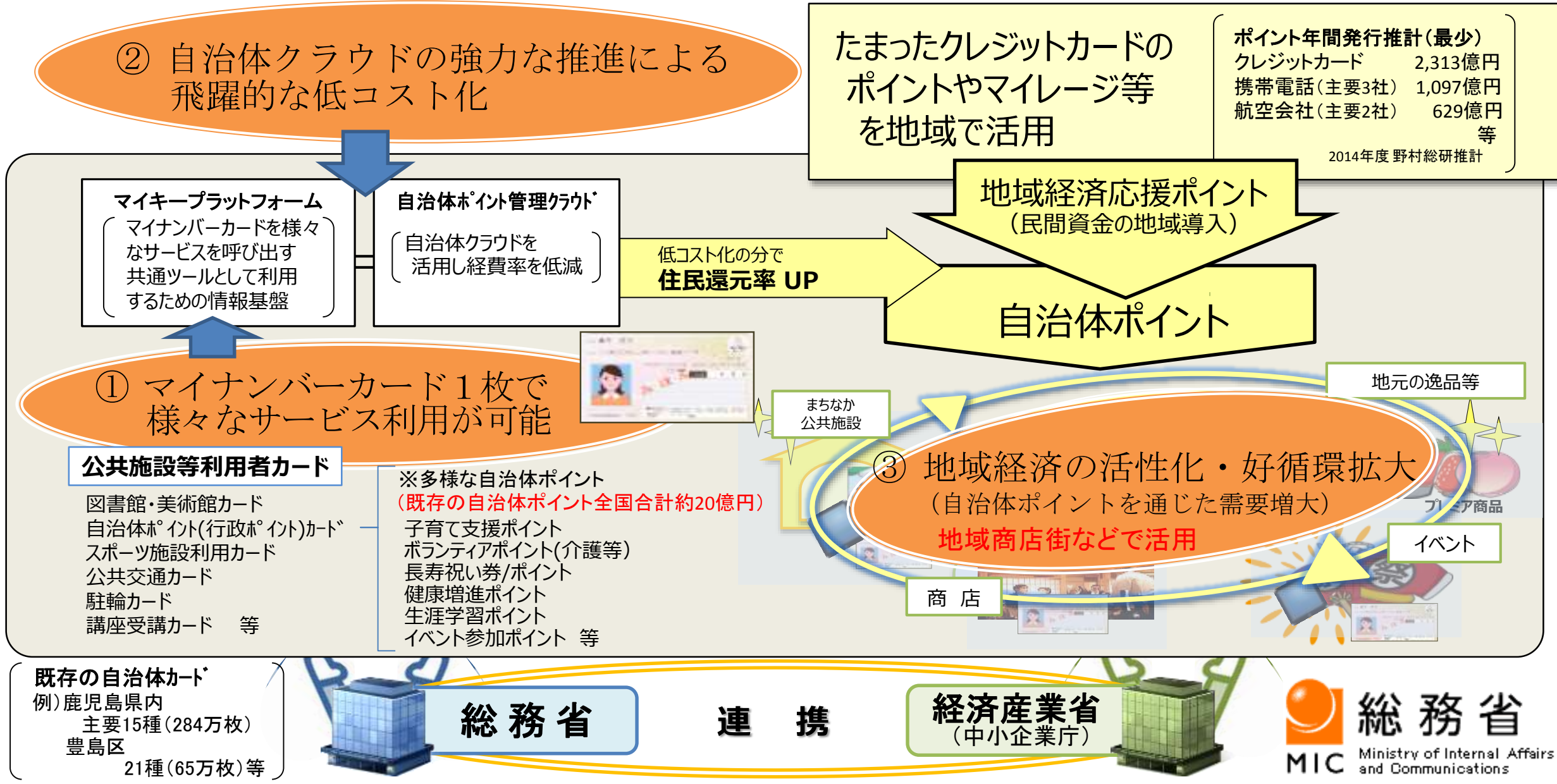
地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクトの概要

実施主体	総務省
事業名	地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクト (マイナンバーカードの活用)
総事業費	19億5,000万円(平成28年度第2次補正予算)
内容	マイナンバーカードを活用した地域経済好循環の拡大に向けた実証事業 ●図書館等共同利用方式 ●先進的商店街でのポイントシステムとの連携 ●交通系カードなど多様なカード事業との連携 ●観光と連携した広域的な地域需要喚起策 など

地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクトの流れ

1-4. マイキープラットフォームによる地域活性化方策

～民間利用が可能な電子証明書等(マイキー)を活用～
※マイナンバーは使わない



地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクトの特徴

区分	特 徴	津市におけるメリット
マイナンバーカード	公的個人認証機能を持ち、今後、マイキープラットフォームにより図書館カード機能をはじめ、様々なサービスとの連携が期待できる	本人確認が容易に可能
マイキープラットフォーム	マイナンバーカードを様々なサービスを呼び出す共通ツールとして利用するための情報基盤	サービスカードとの連携が可能
自治体ポイント管理クラウド	自治体クラウドを活用し、市の業務端末から自治体ポイントを付与することが可能	付与するポイントの管理が可能

総務省にてシステムを構築

事業費 19.5億円

交通系カードとの連携事業プラン①

対象者

市内に住所を有する**65歳以上**の方
(平成29年1月1日現在 **79,223人**)

概要

- ▶ 三重交通株式会社の「エミカ」を活用した**オリジナルICカード「シルバーエミカ」**を利用者に**無償交付**
- ▶ シルバーエミカに乗車ポイントを**年間2,000ポイント**を上限として付与
- ▶ シルバーエミカは、**エミカと同様、現金をチャージ(入金)して利用**することが可能

対象となる交通機関 **運賃精算にエミカを利用できるバス**

- 三重交通グループの「**路線バス**」
- NPO法人バスネット津の「**ぐるっと・つーバス**」

乗車ポイントは運賃支払いの時に
1ポイント1円換算で利用可能



エミカとは？

平成28年4月に
導入された三重
交通株式会社の
ICカード



特徴

- タッチするだけで
ラクラク乗り降り
- 面倒な小銭の用意
がいらない
- チャージ(入金)で
繰り返し使える
- 乗り継ぎも安心で、
運賃が割引きされ
お得 など

交通系カードとの連携事業プラン②

総務省

総務省とマイナンバーカードを活用した事業実施の方法について検討

マイナンバーカードの活用方策の整備

マイナンバーカードの利便性向上策

- マイキープラットフォーム
- 自治体ポイント管理クラウド

津市

三重交通(株)とICカードの運用方法など事業実施に向けた具体的な方策を検討

高齢者外出支援事業の実施

- シルバーエミカを65歳以上の方に無償交付
- カード情報の読取機を窓口を設置
- 使用ポイント分の運賃支払

三重交通(株)

路線バス事業における乗車サービスの充実

- ICカード「エミカ」の普及
- エミカのシステム運用

総務省・津市・三重交通株式会社が連携して事業実施に取り組めます

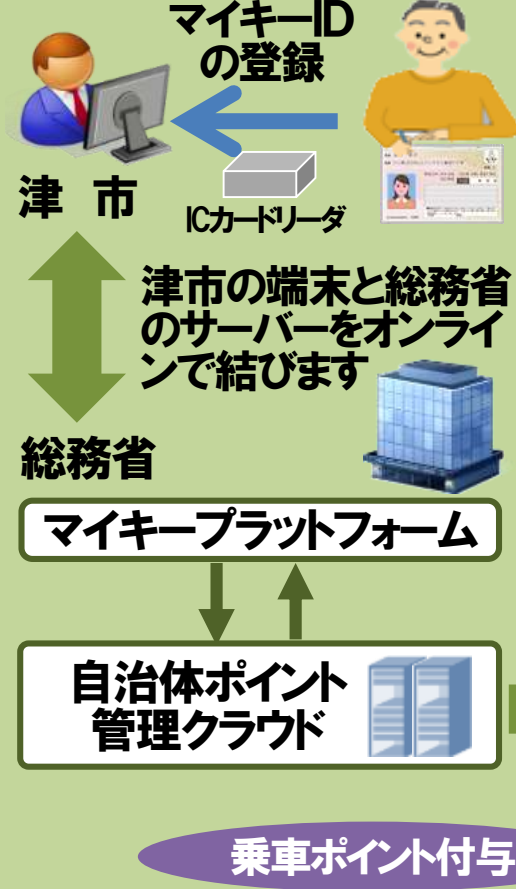
交通系カードとの連携事業プラン③

マイナンバーカードの取得



マイナンバーカードの取得には一定期間が必要。事業開始の9月までに**あらかじめ取得**していただくようお願いします

マイキープラットフォームへの登録など



マイキープラットフォームと自治体ポイント管理クラウドを活用して**シルバーエミカの交付と乗車ポイントの管理**を行います

シルバーエミカの交付



シルバーエミカは津市が三重交通株式会社から調達するので、**無償**でお渡しします

※再発行の場合は実費として500円必要

シルバーエミカによる高齢者外出支援に使えます



三重交通グループの路線バスで

降車時に乗車ポイントで**運賃精算**
(運賃は距離により異なります)

ぐるっと・つーバスで

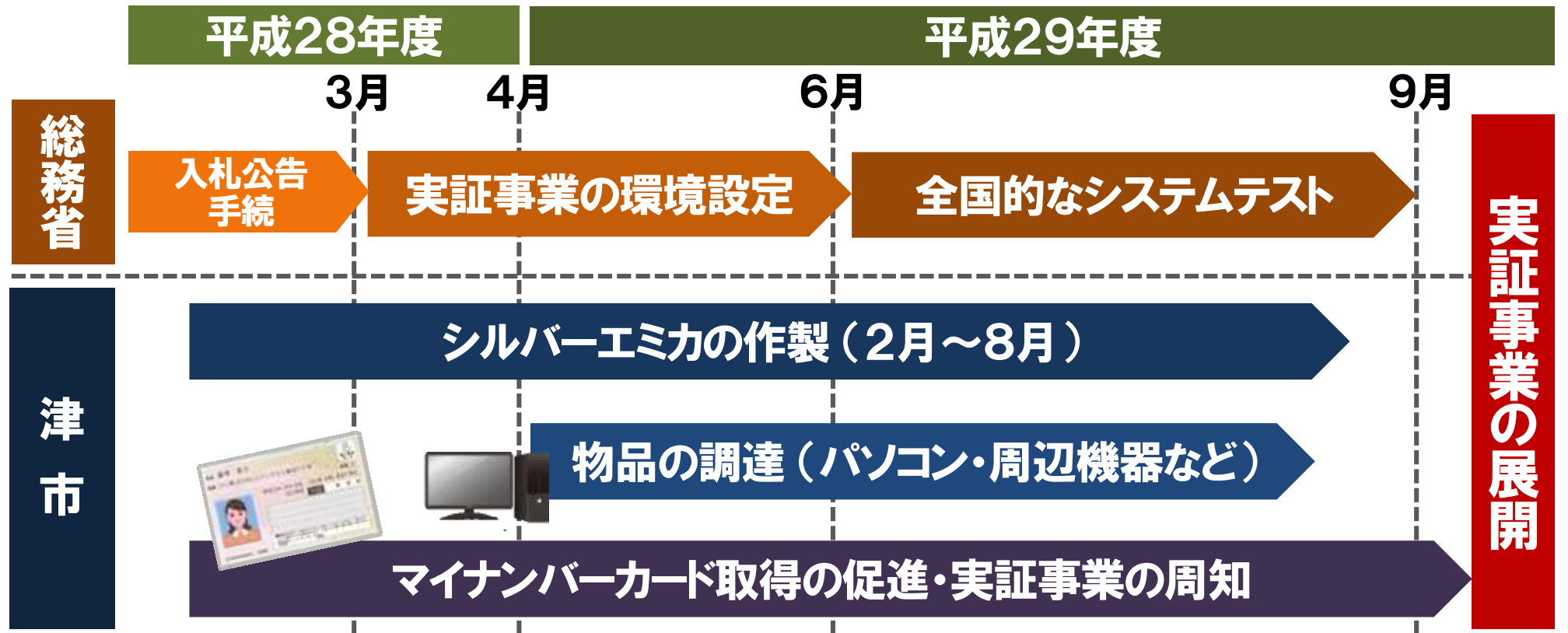
降車時に乗車ポイントで**運賃精算** (1乗車100円)

コミュニティバスで

コミュニティバスの**高齢者運賃無料化**にシルバーエミカを活用

交通系カードとの連携事業の実証スケジュール(案)

実証 スケジュール (案)



予算措置

シルバーエミカの作製には概ね6カ月(2月～8月)が必要なため、平成29年第1回津市議会臨時会に補正予算を計上

債務負担行為
(追加)

- 高齢者外出支援用ICカード作製業務委託
- 期 間 平成29年度
- 限度額 2,829万6,000円



津市公共施設等総合管理計画の策定と 同計画に基づく施設区分ごとの整備指針 の作成(公民館・出張所・放課後児童クラブ)

平成29年2月1日

津市公共施設等総合管理計画の策定①

公共施設等総合管理計画の策定指針（平成26年4月総務省）

津市公共施設等総合管理計画の作成に着手

長期的な視点をもって選択と集中のもと、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、公共施設の最適な総量と配置を実現していくとともに、財政負担を軽減・平準化へ

平成28年4月1日

津市公共施設等総合管理計画策定・推進会議の設置

- 市長(会長)、副市長、部長など21名で構成し全庁的に検討
- 第1回～第5回会議を開催

平成28年4月13日

アドバイザーの委嘱

- 川嶋 幸夫 氏 日本経営協会 専任コンサルタント
- 小松 尚 氏 名古屋大学大学院 准教授

津市公共施設等総合管理計画の策定②

平成28年11月9日

市議会全員協議会で協議

津市公共施設等総合管理計画(案)及びダイジェスト版(案)を
提案し協議

平成28年12月5日
～

平成29年1月10日

パブリックコメントの実施

6名3団体から84件の意見をいただき検討

平成29年1月25日 津市公共施設等総合管理計画を策定

計画の構成

- 1章 津市の概況、財政状況、人口の推移
- 2章 津市の公共施設等の現状と課題
- 3章 公共施設の最適化に向けての基本的な考え方
(基本方針・実施方針)
- 4章 施設類型ごとの今後の方向性
- 5章 目標
- 6章 計画推進のための取組

計画期間

30年間

平成29年度～
平成58年度

津市の概況等～公共施設等の現状と課題

第1～2章

市町村合併

人口構造の変化

財政構造の変化

- 人口減少:約28. 2万人⇒22万人(平成57年予想)
- 少子高齢化により生産年齢人口の大幅減少
- 施設整備に充てられる財源は縮小

公共建築物		インフラ施設	
膨大な施設総量	●約1, 100施設 ●110. 9万㎡ 類似50団体中最多	膨大な資産総量と経営改善	●上道管路:2, 492km ●下水管路:1, 084km ●道路:4, 004km ●公園: 617カ所
老朽化の進行	●築30年経過:約61%		整備と維持管理のバランス 収支の改善が必要
多額の管理運営費	●年額:約149億円 ●使用料収入:12%	その他	
莫大な更新費用	●従来の1. 8倍の負担(次の10年)年額約64億円⇒117. 2億円		
		廃止・休止施設と未利用地	●廃止・休止施設:70施設 ●未利用地:約13. 1万㎡

これらを踏まえ基本方針および実施方針を策定

公共施設の最適化に向けての基本的な考え方

第3章

公共施設等の総量と経営の最適化

公共施設等の最適化に当たっては、人口減少や少子高齢化の進展などの社会構造の変化に伴うニーズの多様化、窮迫する財政状況等を踏まえ、公共施設の更新が集中するこの機において、本市に見合った施設の総量と経営の最適化に長期的な視点に立って取り組む

施設総量と施設機能の最適化

事務事業の最適化

施設経営方法の最適化

①まちづくりの視点からの配置の最適化

公共施設等の維持・更新、統廃合等を行う場合、津市総合計画及び津市行政経営計画、津市都市マスタープランなど、本市の将来のまちづくりの視点から、コンパクトなまちづくりに取り組む

- コンパクトシティの推進
- 地域拠点の構築
- 施設配置基準の設定
- 広域化と共同利用

②時代の要請・変化への対応

社会環境の変化や市民のライフスタイルの多様化など、時代の要請・変化に対応して公共施設の整備や運営を行う

- 社会環境の変化への対応
- 多様なライフスタイルへの対応
- ノーマライゼーションの実現
- 公民連携の推進
- 市民協働の推進
- 官学連携の推進
- 防災機能の確保

③公共施設総量の最適化

公共施設については、人口の規模や構造、密度、市民ニーズや利用状況をはじめ、財政状況や費用対効果などの面から総合的に検討し、本市にふさわしい施設総量の最適化を図る

- 施設の整備・更新
 - 施設の数量と規模の最適化
 - 施設の長寿命化
 - 施設の整備・更新手法の選択
- 施設の譲渡・売却
 - 地域への譲渡・売却
 - 団体への売却・譲渡
 - 民間への売却・譲渡
- 用途廃止施設の処分
- 借地・借家の解消

④公共施設の有効活用

施設を「使い切る」との発想のもと、最大限有効活用を図る。新たな機能が必要な場合でも、新規施設を整備するのではなく、原則、既存施設の転用や空きスペースの活用、必要最小限の増改築等により対応

- 施設の利用促進
 - 耐用年数まで使い切る
 - 低利用施設を使い切る
- 低利用施設の転用と機能移転
- 廃止施設と跡地の有効活用

⑤公共施設の経営改善

公共施設の管理運営に当たっては、地域が主体的に運営する仕組みを設けるほか、効率的な管理運営手法を導入し、経営改善を図る

- 経営的視点と手法の導入
- 管理運営の委譲等
 - 地域への委譲
 - 指定管理や民間委託の活用
- 民間資金・提案の活用(PPP/PFI)
- 受益者負担の適正化と収入確保
 - 業務の包括化と予防保全の導入
- 管理運営費用の縮減
 - ライフサイクルコストの把握と縮減
 - 革新的技術の導入

インフラ施設の計画的な更新と維持管理

道路・橋梁や上下水道などのインフラ施設は、市民生活に密接に関係する基盤施設であることから、施設の整備に当たっては、社会情勢や市民ニーズを的確に把握するとともに、人口減少や人口構造・都市構造の変化を見据えて、真に必要なインフラ施設の整備を計画的に実施

<上水道>

- ・中長期的な視点に立った健全経営
- ・老朽化施設の更新、耐震化
- ・統廃合の検討と効率的な水運用の見直し
- ・長寿命化と維持管理コストの縮減

<下水道>

- ・経営基盤の確立
- ・整備区域の明確化
- ・老朽化施設の更新、耐震化、長寿命化

<道路・橋梁・トンネル>

- ・点検・巡視等、予防保全の実施
- ・更新時期・費用の分散化・平準化
- ・コスト縮減

<公園>

- ・遊具の長寿命化
- ・施設の再整備と総量縮減

施設類型ごとの今後の方向性～目標 第4～5章

地域の経緯や実情を尊重し、一律的な数値目標ではなく
各施設類型の方向性や実現イメージを提示

モデルケース (仮称)津みどりの森こども園および周辺公共施設再編

園児数
減少

幼稚園

改修・増築・
売却など

ニーズの
拡大

保育園

老朽化

公民館など

こども園として
一体整備

公民館などに
転用

時代の変化・
要請への対応

柔軟な需給調整と多様化する
教育・保育ニーズに対応

公共施設
総量の最適化

一部の施設を売却することにより
総量を縮減しつつ財源を確保

公共施設の
有効活用

建物や敷地を転用することにより
周辺施設の老朽化に対応

施設を点で見るのではなく
地域を面で俯瞰して課題解決

津市公共施設等総合管理計画を 実効あるものにしていくための体制や仕組の整備

①推進体制の整備

総合的な検討を行う
会議体の設置

総合的な公共施設
マネジメント体制の整備

包括的な維持管理体制
の整備

役割分担と指揮系統の
明確化

②総合的管理のための 仕組の整備

施設情報の一元化

施設整備計画を事前
点検する仕組の整備

財産処分の仕組の
見直しとルールの確立

長寿命化に向けての
基本方針の策定

③市民協働・公民連携 のための仕組の整備

市民の意見を反映する
仕組の整備

公共施設の再編に伴う
公共交通網の整備

民間活力を導入する
仕組の整備

民間資金・提案の活用
(PPP/PFI導入)に係る
方針の策定

施設区分ごとの整備指針

津市公共施設等総合管理計画は、あくまでも基本的な考え方

個別計画としての施設区分ごとの整備指針が必要

必須なものとして、順次作成し公表

今回、3つの施設区分の整備方針を公表

公民館

出張所

放課後児童クラブ

公民館に係る整備指針①

新しい時代の公民館・魅力ある公民館

公民館は、地域の人材を育てる学習センター機能を基本に地域コミュニティ機能を介して多世代の人々が集いつながりあう機能を持った施設であり、そのことが魅力ある公民館の最も重要な要素

利用者の多くが高齢者

学習機能がほとんど

従来の
公民館

気軽に集える場がほしい

地域のコーディネーターがほしい

これから推進していく機能

学習センター機能

地域力創造機能

講座を通じて人材を育成することにより、公民館長が受講生と地域の人たちをつなぐ支援をします

家庭教育支援機能

家庭での生活習慣や学びへの意欲をテーマとした講座を開催することにより、親子をつなぐ支援をします

地域コミュニティ機能

学校と地域の協働機能

地域の人々が地域の子どもたちを育む場として、公民館長が地域と学校をつなぐ支援をします

多世代が集う場所の整備

魅力があり「人と人をつなぐ」公民館

公民館に係る整備指針②

配置と 総量の 最適化

- 津市公共施設等総合管理計画に基づき、公民館を設置している地域を俯瞰し、地域内の公共施設を改修・整備するタイミングで、全庁的な視点から施設の再配置を検討し、配置と総量の最適化を実現
- 整備に当たっては、別に定めるコミュニティ施設(コミュニティセンター・集会所・農民研修センター)や出張所などの地域活動拠点施設における整備指針との整合を図り推進

既存施設の活用

今後は新たな施設整備ではなく、出前講座を行うなど既存施設を有効に活用

施設の改修整備

公民館施設の改修整備については、原則老朽化の進んでいる施設を優先しますが様々な状況に応じて柔軟に対応

施設の改修整備を検討する場合の優先順位

①複合施設
としての整備

②未利用
施設の活用

③既存施設の
改修整備
(長寿命化)

④様々な事情により現行
施設の改修工事が困難な
場合に限り、建替えによる
施設の更新を検討

諸室の考え方

一定規模の多目的ホール(研修室を2室つなげたもの)や、学習活動用の研修室、多様な地域活動のための地域活動支援室の設置を優先

平成29年度当初予算(案)に一身田公民館と一身田出張所の
建替えに係る設計費を計上する方針を決定

出張所に係る整備指針

出張所業務の 今後の在り方

今後の情報技術の進展等により、窓口業務が変化する一方で、地域課題の解決を図るため地域住民が主体となった取組が重要となることから、地域活動に対する相談・支援業務の強化を図ります

配置と総量の 最適化

- 公民館等地域活動の拠点に位置付けられる施設との複合化により、地域活動の支援機能の強化を進め、施設と機能の一体化を図ります
- 整備に当たっては、別に定めるコミュニティ施設(コミュニティセンター・集会所・農民研修センター)や公民館などの地域活動拠点施設における整備指針との整合を図り推進

①新規施設の整備

出張所機能単独での整備は原則
行いません

②既存施設の更新

地域の拠点施設等との複合化を
進めます

③施設の使い切り

複合可能な施設がない場合は、
単独施設として長寿命化を図ります

将来に向けた 出張所の 在り方

①事務室

将来的な動向を見据え、最小限のスペース、汎用的な設計と
します

②会議室等

自治会等の地域団体との打合せの会議室等は、複合施設の
なかで貸館機能を共有します

平成29年度当初予算(案)に一身田公民館と一身田出張所の
建替えに係る設計費を計上する方針を決定

放課後児童クラブに係る整備指針

放課後児童クラブの運営形態

公設民営

保護者等の運営委員会が運営

民設民営

民間事業者が運営

配置と総量の最適化

津市公共施設等総合管理計画に基づき、最適な児童の放課後等の居場所を確保する観点から、配置と総量の最適化に努めます

1 既存施設の改修整備

①小学校施設の活用

②他の公共施設の活用

③民間施設の活用

改修整備をするための優先順位（総合的に勘案して決定）

専用施設がない場合

専用区画面積が確保できない場合

老朽化に伴い改修を要する場合

既存施設を活用できない場合に
限って

2 新施設を整備

併せて

未設置校区への対応

諸室の考え方

- 保育室…日常的な遊び及び生活の場としての機能を確保するとともに、児童が静養する場とします
- 厨房…児童の楽しみとなるおやつや食事を準備したり提供したりする場とします
- 事務室・静養室等…事務の場としての機能を持ち、体の不調を訴える児童の休息・静養する場とします
- 洗面所…安全・衛生を確保するため、入口付近に設置します
- トイレ…児童の衛生面に配慮してトイレ及び手・足洗い場を設けます

平成29年度当初予算(案)に観音寺地区放課後児童クラブの新設に係る設計費及び神戸地区放課後児童クラブの小学校への移転整備に係る工事費を計上する方針を決定

対岸総合表示盤に大型映像装置を増設・ スタンド棟4階へ新たにプレミアム指定席 を設置



平成29年2月1日

対岸総合表示盤に大型映像装置を増設

現在、競走水面の対岸に
大型映像装置を1台設置



既設の1.5倍の大型映像装置を新たに1台設置
平成29年2月18日から利用開始

958インチ
(8m×23m)



2画面で別々のレース
映像放映可能に！

選手情報や顔写真も
放映可能に！

2連単も3連単オッズ
も表示可能に！

事業費

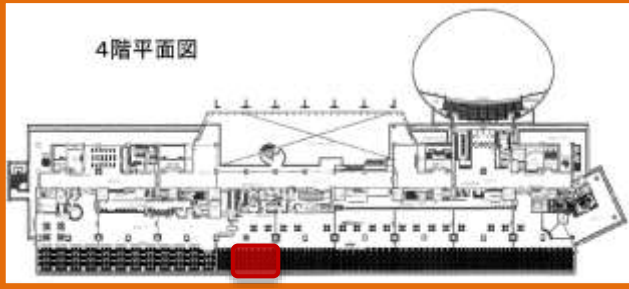
約2億4,000万円（一部、BOATRACE振興会から支援）

新たにプレミアム指定席を設置

スタンド棟4階のB指定席の一部（84席分のスペース）を改修し、プレミアム指定席（ソファボックス・ペアボックス・たたみボックス）を新設

平成29年2月18日から利用開始

4階平面図



ペアボックス

- ・3ボックス分新設
- ・1ボックス2名まで

ソファボックス

- ・4ボックス分新設
- ・1ボックス6名まで

たたみボックス

- ・2ボックス分新設
- ・1ボックス5名まで

施設改修に併せて場内の分煙化を実施！

スタンド棟内に喫煙室・
屋外に喫煙広場を設置

事業費

約9,400万円（一部、BOATRACE振興会から支援）

津インクルで1日最大7競走場84レースの舟券発売を開始

津インクルオープン時

平成23年9月10日

1日最大4競走場48レースを発売

施設改修（機器更新）

平成28年1月29日

1日最大6競走場72レースの発売を開始

放映装置のシステム改修により、勝舟投票券の発券可能数がアップ

平成29年2月9日から

1日最大7競走場84レースの発売を開始



外向発売所 津インクル

▶ モーニングレースからデイレース、ナイターレースまで舟券購入が可能

▶ 7競走場以上の発売は、全国24競走場の外向発売所の中で14番目

G I 第62回東海地区選手権競走を開催

期間 2月18日(土) **19日(日)** 20日(月) 21日(火) 22日(水) 23日(木)

東海地区内のボートレース場（浜名湖、蒲郡、常滑、津）
の持ち回りにより4年に1回、ボートレース津で開催

東海地区を代表する52名の有力選手が
ボートレース津に集結し、
東海地区 NO.1 を決定！

観客動員数のアップ、
さらには売り上げのアップに期待！



主な出場選手

ドリーム戦出場選手 初日(2/18) 第12レース

三重支部



4024 井口佳典
いぐち よしのり



3960 菊池孝平
きくち こうへい



3946 赤岩善生
あかいわ よしお

三重支部



3779 原田幸哉
はらだ ゆきや



3959 坪井康晴
つぼい やすはる



3984 坂口 周
さかぐち めぐる

三重支部から
10名が出場！



4049 高沖健太
たかおき けんた



4227 安達裕樹
あだち ゆうき

三重支部・愛知支部・
静岡支部による
白熱の三つ巴戦！！

レース期間中、ファン感謝イベントを開催！

選手紹介& ドリーム戦出場選手インタビュー

時間：9：20～ 場所：ツッキードーム（開場：開門～）

2/18



2/18

元SKEの矢神久美さん&ボートレース女子「りなつん。」

♡ボートレーストークショー

時間：第4レース発売中（11：40頃～） 場所：ツキツクスステージ

♡初心者セミナー

時間：14：00頃～ 場所：2階展示スペース



矢神 久美さん

りなつん。

メイプル超合金 お笑いライブ

時間：①第4レース発売中（11：40頃～）
②第8レース発売中（13：40頃～）

場所：ツッキードーム
①開場：11：00
②開場：13：00

2/19

特報

ボートレース津指定席に
プレミアムなボックスシートが
登場します!!
※詳細はボートレースホームページでご確認ください



2/18・19・22・23 東海地区名物の グルメカーがやってくる

時間：開門～ 場所：芝生広場

2/23

優勝戦出場選手インタビュー

時間：第6レース発売中（12：40頃～） 場所：ツッキードーム（開場 12：00）

優勝者表彰

時間：ウイニングラン終了後 場所：ツッキードーム（開場 16：00）

その他、抽選会など
イベント盛りだくさん♪

皆さまのご来場を
お待ちしております

